外大旬人

GAIDAISYUNBITO Vol.1

Commitment to Life



カナダ出身の双子留学生

アニメだけじゃない、尊敬と親しみの日本文化。



ジョン・アイバー・アンドリュー（交換留学生 カナダ・ダグラスカレッジ出身）

マイケル・オーバル・アンドリュー（交換留学生 カナダ・ダグラスカレッジ出身）



日本に来てすぐ、ジャパンボウル大会®に参加。難しい問題も多かったけど、楽しかった！

東海岸から西海岸、そして太平洋を渡って。

ノバスコシア州は、カナダの東端、大西洋に突き出た半島部分。『赤毛のアン』の序章として制作された日本のアニメ『こんにちは　アン』の舞台でもある。とはいうものの、ノバスコシアを訪れる日本人は少なく、ジョンとマイケルは、日本人に会ったことはほとんどなかった。日本への興味は、やはりアニメから。「ワンピースやドラゴンボールを子どもの頃から夢中で見てました。英語の字幕付きでしたけど（マイケル、以下M）」「でも、いつかは日本語のオリジナル版を見て理解できるようになりたい、と思った（ジョン、以下J）」

それで、2人はバンクーバーのダグラスカレッジで日本語を勉強することに。東海岸から西海岸へ、距離約6000キロ。それだけ、日本にも近づいた。距離だけではなく、観光やビジネスで訪れる日本人も多く、日本を身近に感じるようになった。「バンクーバーには日本語の本がたくさんある図書館があって、毎日通っていました（M）」「大学には日本からの留学生も大勢いて、友達になりました。みんな、いい人だった（J）」

そんな環境の中で、2人はさらに日本への思いを募らせる。「留学しよう、と最初に言ったのは僕だった（J）」「僕は大学を卒業してからにしようと言ったんだけど、やっぱり在学中に行くことにして、僕が先に試験に合格したんだ（M）」「マイケルの方が成績がよかったからね。（J）」2017年秋学期から、2人そろって京都外大に。

留学で、視野と将来の可能性を広げる。

日本語には自信があった2人だが、やはりそれなりの苦労はあるようだ。「やっぱり漢字は難しい！なんであんなに読み方がいっぱいあるの⁉（J）」「でも、漢字には意味があるから、読めなくても意味が分かる。もっと漢字を勉強したくて、京都外大で書道の授業を選択したんだ。美しい文字が書けるように、書き順や書き方を教えてもらった。（M）」日本の文化についても、彼らならしい発見があった。方言と敬語だ。「小さい国なのに、いろんな方言があることが面白いと思った。方言を勉強して、アニメのキャラクターをより深く知ることができそう！（M）」「家庭教師のアルバイトで敬語の大切さを感じた。方言を勉強するのに北海道から沖縄まで周ってみたい！（J）」

一年間の留学を終えたら、「カナダの大学でスポーツサイエンスを専攻しているので、東洋のマッサージを組み合わせてなにかできないか考えています。モントリオールのサーカス・スクールに行こうかとも考え中。シルク・ド・ソレイユへの道が開かれてるんです。モントリオールはフランス語圏だから、フランス語の勉強もしなくちゃ（J）」「僕は国際関係を専攻しているので、バンクーバーの日系企業で日本語を生かして働きたい。国際的なスポーツシーンで通訳の仕事をするのもいいかも（M）」とのこと。

留学を経験したことで、やりたいことがさらに広がった。大きな夢と可能性をお土産に、この夏、カナダに帰る。



自分の部屋でよくアニメを見ます。やっぱり日本のアニメはおもしろい！（J）



「断」は僕のテーマ。自分に誇りを持って生きるためには「決断」と、時には「断る」ことも必要だからです。（M）